



Vol. 2

宇陀市大宇陀区松山地区

「大宇陀まちおこしの会」



宇陀市松山重要伝統的建造物群保存地区
近鉄榛原駅より南へ約5km
間松山地区まちづくりセンター
「千軒舎」TEL 0745-87-2274

第36回かぎろひを観る会
日 12/26(水)
午前4:00~夜明けまで
所かぎろひの丘万葉公園
(宇陀市大宇陀区迫間25)
※葛湯のふるまいなど有。
問大宇陀観光協会
TEL 0745-83-2251

「奈良・もてなしの心推進県民会議」では、
生き生きとした生活や交流を育むまちづく
りを実践している地区を、「もてなしのま
ちづくりモデル地区」として認定。
宇陀市松山地区はその一つです。



さりげない歓迎が松山流 誇りと美風が息づく町

かつて城下町として栄えた宇陀市大宇陀区松山地区。今も栄華をとどめる重厚な商家などが軒を連ねます。去年、宇陀松山の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、さらに多くの来訪者を迎えるようになりました。

大宇陀の代表的イベント

「かぎろひを観る会」は、今年三十六回目。約千人が毎年、夜明け前の光景を見守ります。

「町に愛着があるから、見に来てる」といえる。誇りがなければ、おもてなしの心は生まれませんよね」と話すのは、

「大宇陀まちおこしの会」(会長・森本光俊さん)の裏

宗久事務局長。毎年夏に開かれる、住民主導の町並みライ

トアップイベントでは、訪れ

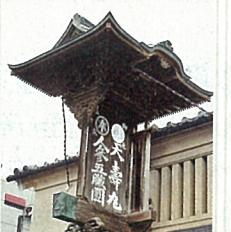
る人に自宅を公開する住民も増えているということです。

「光に照らされた民家を見ながら、お年寄りが孫に『きれいやねえ。よその町に来たみたい』といつて目を細めている。イベントや情報発信は、住民が町の良さを見直すことにつながるようです」と、交流がもたらす活性化にメンバーらは期待を寄せています。

長い町の歴史は、住民共通の気風を作り上げてきました。通りの打ち水や掃除は入念に。来訪者が散策していれば、車はクラクションを控えてそつと脇を過ぎていきます。「さりげないおもてなしこそ大切にしたいのです」(森本会長)。にじみ出る美風は、人から人へ確かに伝承されています。



よく晴れた冬の夜明け前に、最初に現れる陽光が「かぎろひ」。その情景を万葉歌人の柿本人麻呂が詠んだとされる歌も、万葉集に残る。



「葉の館」にある唐破風付きの看板。松山地区的シンボル的な存在となっている。



和と吉野・伊勢を結ぶ交通の要衝として栄えた宇陀松山の町並み。静かな町に路のせせらぎが心地よく。